



JAPANESE A1 – HIGHER LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2

Friday 18 May 2001 (morning)
Vendredi 18 mai 2001 (matin)
Viernes 18 de mayo de 2001 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. Substantial references to a Part 2 work of the same genre are permissible but only in addition to the minimum of two Part 3 works. References to other works are permissible but must not form the main body of your answer.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- Ne pas ouvrir cette épreuve avant d'y être autorisé.
- Traiter un sujet de composition. La composition doit être basée sur au moins deux des œuvres étudiées dans la troisième partie du cours. La composition peut comporter des références importantes à une œuvre du même genre étudiée dans la seconde partie, mais uniquement en plus des deux œuvres de la troisième partie. Les références à d'autres œuvres sont permises mais ne doivent pas constituer l'essentiel de la réponse.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta debe basarse en al menos dos de las obras estudiadas para la Parte 3. Se podrán hacer referencias importantes a una obra de la Parte 2 del mismo género pero solamente como complemento a las dos obras de la Parte 3. Se permiten referencias a otras obras siempre que no formen la parte principal de la respuesta.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くにあたっては、授業で学習した部門（第三部門）の中から、少なくとも二つの作品に言及しなさい。なお第三部門の作品に加えて、同じジャンルの第二部門やその他の作品を扱ってもよいが、あくまでも第三部門の作品を主として、エッセイを書くこと。（第二部門：精読の部門、第三部門：ジャンル別の部門）

1. 物語・小説

- （a）構成や文体が異なる作品を二つ以上あげ、構成や文体が主題とどのように関わっているかについて例をあげて比較し、考えるところを述べなさい。

あるいは

- （b）物語とはできごとを時間の順序に従い、因果律に則^{いんが りつ のつと}って書き記すものであると言われています。あなたの読んだ作品ではこの物語としての特徴が作品の中でどのように働いていますか。明らかな物語性を持たない作品の場合、それに代るものとして何が作品の骨組みを構成していますか。（因果律：一切の物事は何らかの原因から生じた結果であるとする法則）

2. 随筆・評論

- （a）日本の随筆はどんな些細なことがらにも真実があるという立場で書かれているという意見があります。あなたの読んだ作品から例を挙げ、この意見について論じなさい。

あるいは

- （b）あなたの読んだ作品において、自然や風土についての考え方はどのように述べられていますか。二つ以上の作品から例をあげて比較し、その描写の特徴とその効果について考えるところを述べなさい。

3. 詩歌

- （a）「伸び過ぎた僕の身長がシャツの中に隠れたがるように、若さが僕に様式という枷^{かせ}を必要とした。定型詩はこうして僕の中のドアをノックしたのである。」（寺山修二）寺山は俳句や和歌などの定型詩との出会いをこのように語っています。あなたの読んだ作品から例をあげ、詩歌における「様式」について、あなたの考えるところを述べなさい。

（枷：人の行動を束縛するもの）

あるいは

- (b) 詩人が感情を表現する場合に、自然の描写を用いる場合と用いない場合があります。詩人の感情の表現の方法とその効果について、あなたの考えるところを述べなさい。

4. 戯曲

- (a) 作者はある主題を描くために、なぜ演劇という形式を選ぶのでしょうか。あなたの読んだ作品から、二つ以上の作品の主題を選び、比較して「演劇」という形式について論じなさい。

あるいは

- (b) 戯曲に、葛藤^{かっとう}は必要不可欠な要素であると言われています。あなたの読んだ二つ以上の作品を比較し、例をあげて、あなたの考えるところを述べなさい。

5. 一般的設問

- (a) 「現代の人間は、自由な個人であることを求めている」と言われています。あなたの読んだ作品の中で、人々は自由な個人であることを求めて、どのように生きているのでしょうか。二つ以上の作品から例をあげて、「自由な個人」について、あなたの考えるところを述べなさい。
- (b) 文学作品の評価は、時代によって変わっていく面と変わらない面があるという意見があります。あなたの考えるところを述べなさい。
- (c) 道徳的な教訓を与えることを目的とする作品は、文学作品としては価値が低いという意見があります。この意見について、どのように考えますか。二つ以上の作品から例をあげて、あなたの考えるところを述べなさい。
- (d) あなたの読んだ作品において、善と悪、希望と絶望、愛と憎悪などのような対立する概念が、どのように描かれていますか。二つ以上の作品から例を挙げて、それらがどのような効果を与えているかについても、あなたの考えるところを述べなさい。
-

